



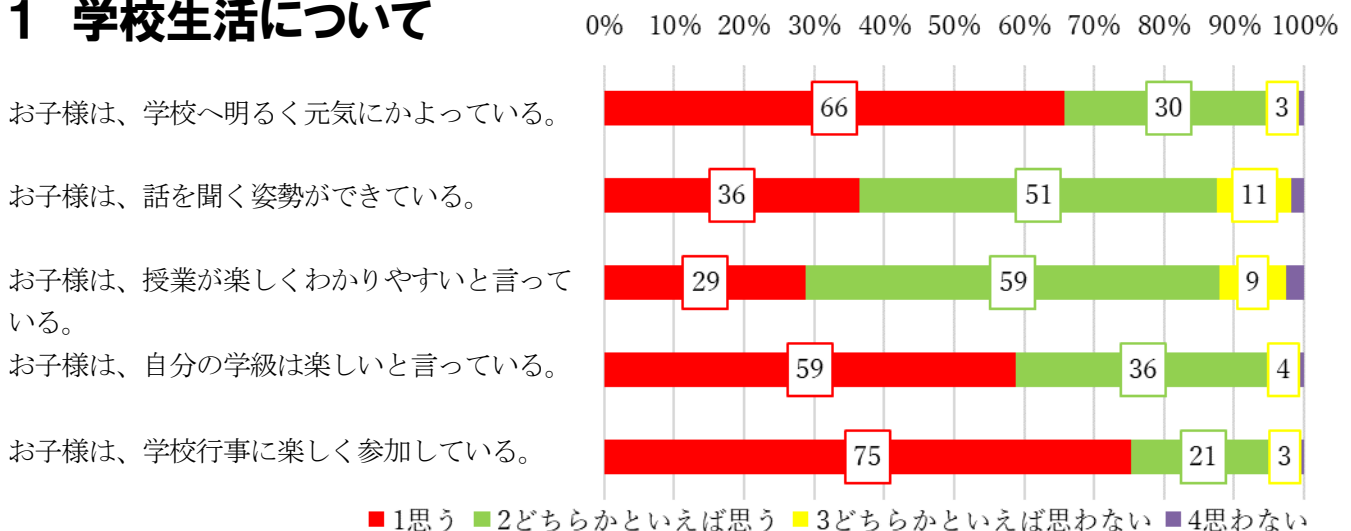
## よりよい今伊勢西小学校をめざして

厳冬の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました本校の教育活動に関するアンケートにつきまして、集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。保護者の皆様には、お忙しいところ、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

アンケートは、「学校生活について」「生活習慣について」「教職員について」「教育活動について」「家庭との連携について」の項目ごとにまとめました。今後、学校ではアンケートを踏まえ、よりよい今西小学校をめざして教育活動を推進してまいります。保護者の皆様方のより一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 1 学校生活について



『学校へ明るく元気にかよっている』『自分の学級は楽しいと言っている』『学校行事に楽しく参加している』の項目で、「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると、90%以上の高い評価となりました。

『話を聞く姿勢ができています』『授業が楽しくわかりやすいと言っている』の項目は、他に比べ割合が低いので、学習マナーを意識させていくとともに、「楽しくわかりやすい授業」をめざして、研修や情報交換をすすめ、学力の定着・向上をめざしてまいります。

## 2 生活習慣について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

お子様は、あいさつができています。



お子様は、社会生活のルールを身につけている。



お子様は、自他共に命や心を大切にしている行動をしている。



お子様は、早寝・早起き・朝ごはんを実行している。



お子様は、自分ができることは進んで行っている。



■ 1思う ■ 2どちらかといえば思う ■ 3どちらかといえば思わない ■ 4思わない

「思う」と回答いただいた、『社会生活のルールを身につけている』『自他共に命や心を大切にしている行動をしている』が90%を超えています。『あいさつができています』『自分ができることは進んで行っている』は、「思う」「どちらかといえば思う」を合わせても他に比べ割合が低くなっています。これらについては、自ら進んで行えるような活動や呼びかけをしていく必要があります。『早寝・早起き・朝ごはんを実行している』の項目では、「思う」「どちらかといえば思う」の割合が去年に比べ増加しました。ご家庭でのご協力に感謝いたします。どの項目も、「思う」の割合が増えるよう、考える機会や話し合う場を設定し、自分の考えをもって実践できる児童の育成をめざします。

## 3 教職員について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

教職員はお子さんのことをよく理解している。



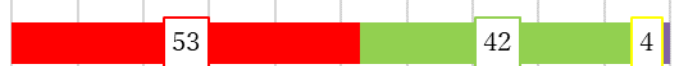
教職員は、お子さんのことについての相談に適切に応じている。



教職員は、対応が誠実で、明るく親しみがもてる。



教職員は、子どものけがや病気について親身になって対応している。



■ 1思う ■ 2どちらかといえば思う ■ 3どちらかといえば思わない ■ 4思わない

3つの項目で「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると、90%以上の評価を得ています。「いつも見守ってくれている」「丁寧に対応していただいている」など一定の評価をいただいている一方、「先生がきびしい」「子どもに寄り添ってあげてほしい」というご指摘もありました。

これからも、①一人一人を大切に、子どもとともに学び教師、②子どもに学ぶ楽しさ喜びを味わわせる教師、③使命感に燃え、自己研鑽に努める教師をめざし、児童一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

## 4 教育活動について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は、少人数指導やチャレンジタイムを実施

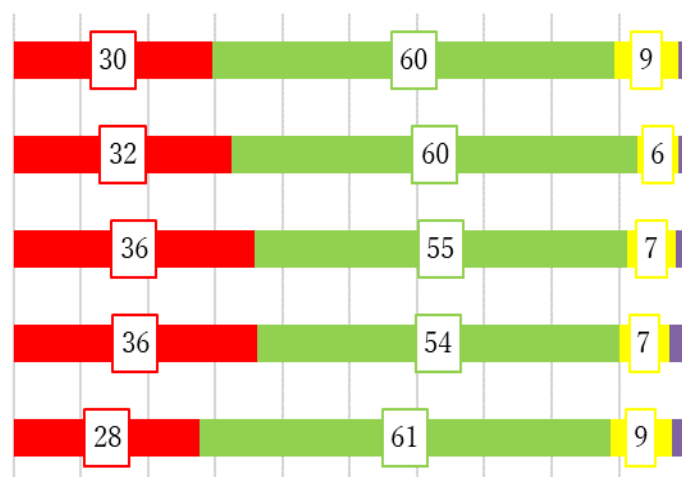
して確かな学力の定着をめざし努力している。

学校は、心の教育（道徳・朝の読書・ふれあい活動など）に熱心に取り組んでいる。

学校は、一人一人を大切に、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

学校は、健康・体力づくりに取り組んでいる。

学校は、潤いや安らぎのある環境づくりに取り組んでいる。



■ 1 思う ■ 2 どちらかといえば思う ■ 3 どちらかといえば思わない ■ 4 思わない

ほとんどの項目で「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると90%程度の評価を得ています。今後も、学習指導、心の教育に力を入れ、子どもたちの力を伸ばしていきたいとします。また、いじめのない学校づくりのため、いじめの早期発見・解消に向けて取り組んでいきます。児童の健康・体力づくりの機会の確保に努めてまいります。そして、児童が安心して学習したり生活したりできる環境づくりに力を入れていきます。

## 5 家庭との連携について

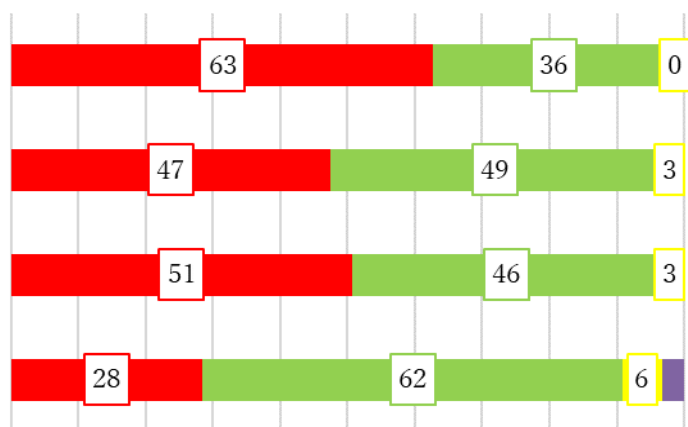
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は、学校公開やホームページ等を通して、学校の様子を家庭や地域に伝える努力をしている。

学校は、コロナ感染症対策など、安全面に十分に配慮している。

"学校は、地域と連携して、交通安全、防災、防犯などに配慮した取り組みを推進している。"

保護者の意見が学校の教育活動に生かされている。



■ 1 思う ■ 2 どちらかといえば思う ■ 3 どちらかといえば思わない ■ 4 思わない

「思う」「どちらかといえば思う」を合計すると、どの項目も90%以上の結果となり、学校、家庭、地域の連携を評価されました。しかし、「子どもたちが道を広がって歩いて、車を止めている」「下校時に防犯ブザーを鳴らしながら帰っている」などの登下校でのご指摘をいただきました。家庭・地域・学校の連携を進め、より安心・安全な登下校を目指します。学校でも交通安全の指導をします。ご家庭においても、登下校時のルールやマナーについて、声かけ・指導をお願いします。

「保護者の意見が学校の教育活動に生かされている」で「思う」の割合が低かったので、来年度は、いろいろなPTAの会を開催した折に、意見を聞いたり、学校の方針をお伝えしたりして、より家庭との連携を密にしていきたいと思えます。